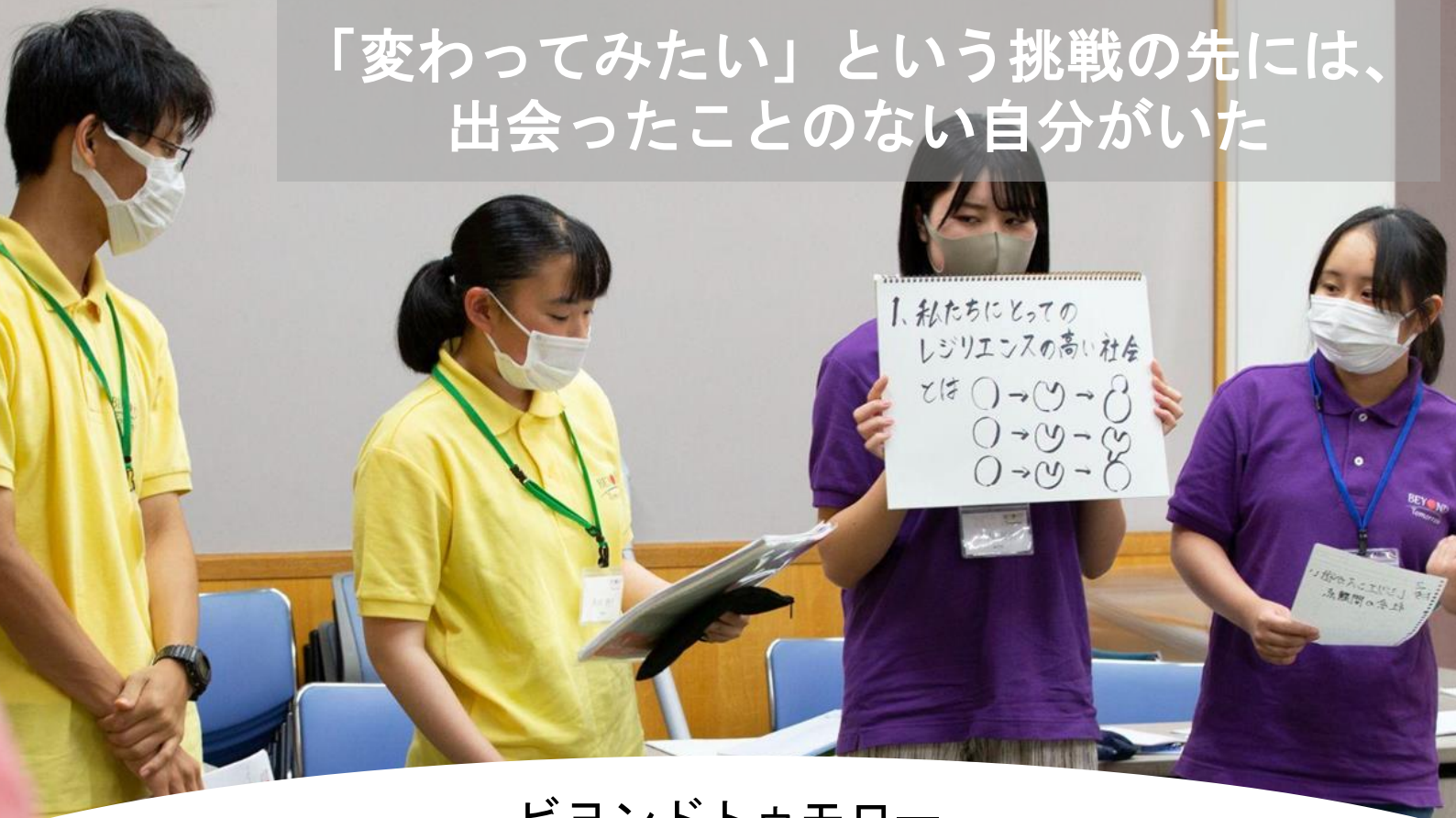


「変わってみたい」という挑戦の先には、
出会ったことのない自分がいた



ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 応募受付中

社会的養護の下に暮らす高校生たちによる、自分の未来への挑戦
【高校卒業後の進学準備のための奨学金給付を含みます】

BEYOND
Tomorrow

内容

- ①年間を通じた人材育成プログラムへの参加（参加に係る費用は主催者が負担します）
- ②高校卒業後の進学にむけたガイダンスや出願準備サポート（無料）
- ③高校卒業後の進学にむけた受験費用の支給（最大10万円）

対象者

応募時点で児童養護施設などの社会的養護の施設または里親家庭に暮らしている
高校1年生、2年生（選考あり・詳細は応募要項参照のこと）

応募方法

2022年1月7日（金）（当日消印有効）までに必要書類を郵送

選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 オンライン面接
※2次選考前に保護者を対象としたオンライン面談を行います。詳細は、1次選考通過者に通知します

「エンデバー」は英語で「実現への試み」を意味し、18世紀の探検家キャプテン・クックの南太平洋探検の第1回航海の際の帆船の名前でもあり、1992年～2011年に宇宙を飛行したスペースシャトルの名称でもあります。

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金

ビヨントゥモローは、様々な社会経済的な事情により、困難に直面した若者が、将来、広い視野と、他者の心の痛みに想いを馳せる「共感力」を持つグローバル・シティズン（地球市民）となる過程を応援する、人材育成事業です。



“ビヨンドは、普段なら交流できない人々との活動や社会全体の視野を広げてくれる場。自分が大きく変わるチャンスを与えてくれました。”

鈴木 美穂 （千葉県立八千代西高等学校）

幼い頃に大好きだった父を亡くし、経済的な理由から家族と離れ、児童養護施設に入所。内気な性格で、人前に出たり、言いたいことを言ったりする事ができない自分を脱し、自分に自信が持てるようになりたいと強く思い、ビヨントゥモローへの参加を決めた。将来は保育士の資格を取得し、児童養護施設の職員になることで、自分と同じような境遇の子供達一人ひとりに寄り添うことができるようになりたいと思っている。



“ビヨンドを通して、「逆境を経験した自分」だからこそ伝えられることがあるのではないかと感じました”

原野涼子 （小松島高等学校）

父の死、母の病気を経験し、里親家庭に暮らす中で、病院食を考える管理栄養士という職業に関心をもった。ビヨントゥモローに参加することで、幅広い選択肢を知り、自分の将来を考えていきたい。そして色々な人とコミュニケーションを図り、自分の視野を広げていきたいと考えてエンデバーに参加した。将来は、管理栄養士の資格をとり、食の知識を持ったうえで、子ども食堂に携わりたい。そして、自身の幼い頃の貧困の経験も生かしながら、子供たちに寄り添い、栄養バランスのとれた食事を提供したいと思っている。

ビヨントゥモロー エンデバーの活動内容（プログラム開催期間：2022年3月～2023年3月）

人材育成プログラム

1年間の人材育成プログラムを通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム過去事例（2022年度のプログラム内容とは異なる可能性があります。）

- ・オンラインスピーカーセッション 宇宙飛行士：山崎直子氏 ジャーナリスト：池上彰氏 など（2021年）
- ・フィリピンセブ島とのオンライン交流会 スラムに暮らす学生たちとお互いの意見交換を行った（2019年7月）
- ・サマーリトリート 児童養護施設居住高校生が多様な活躍をする大学生と出会う 開催地：兵庫県（2019年8月）

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

進学準備奨学金給付

2022年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、センター試験検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2022年度に高校2年次に在籍している方は2023年度受験時に10万円を上限に支給）。



各界のリーダーから社会課題を学ぶ



自分達の考えをプレゼンテーション



仲間とのディスカッション



夜の東京をバス観光

名称 一般財団法人教育支援グローバル基金
住所 〒150-0041
東京都渋谷区松濤1-26-18園ビルディング1F
ファックス 03-6745-9100
電子メール info@beyond-tomorrow.org
ウェブサイト <https://beyond-tomorrow.org/>



ビヨントゥモローは2021年に10周年を迎えました。10年の歩みや卒業生のメッセージなど、右記QRコードよりご覧いただけます。



(社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生対象)
ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 【応募要項】

社会的養護の下に暮らす現高校1年生、2年生を対象とし、彼らが将来、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す過程を応援する「ビヨンドトゥモロー エンデバー2022」への参加者を募集します。本事業は、進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給するだけでなく、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国から集う様々な想いを持つ若者が、広い視野から自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援します。

【主催】 一般財団法人 教育支援グローバル基金 【プログラム期間】 2022年3月～2023年3月（1年間）

【プログラム内容】 エンデバー2022は、以下3つの活動から成る、1年間の包括的なプログラムです。

1. 人材育成プログラム

1年間に4～10回程度開催される人材育成プログラム（内、集合研修形式の対面プログラムは数回）を通じ、各界で活躍するリーダーとの対話や、様々な困難を経験しながらも社会のために働くことを志す仲間との対話、社会課題について考える機会の提供を行います。様々な活動を通じて、自らの視野を広げ、自分の将来について考え、広く発信活動を行います。

人材育成プログラム（対面）開催スケジュール（予定は今後変更になることがあります）

- 第1回 オリエンテーション・プログラム 開催地未定 2022年3月
- 第2回 サマー・プログラム2022 開催地未定 2022年7月下旬～8月下旬予定
- 第3回 総括・まとめ 開催地未定 2023年3月予定

※参加に係る費用（交通費、宿泊費、食費、各種活動費）は、財団規程に基づき、主催者が負担します。

人材育成プログラム（オンライン）開催スケジュール：原則月次で開催（対面プログラム実施月はなし。コロナ禍が沈静化し、対面プログラムが増加した場合は減少）

2. 進学準備奨学金給付

2022年度に高校3年次に在籍し、高校卒業後に進学を志す人を対象に、進学準備費用を奨学金として給付します。進学のための受験に際し、大学入学共通テスト検定料および、大学・短大・専修学校の入学検定料・受験料について、10万円を上限に支給します（2022年度に高校2年次に在籍している方は、奨学金給付は2023年度に支給）。

【応募資格】 下記条件を満たすこと。

- 1 応募時点で、児童福祉法に基づき、児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしていること。
- 2 応募時点で高校1年次、または2年次に在籍していること。
- 3 年間を通じて開催される各種プログラムに参加する意志があること。
- 4 2022年3月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。

【選考方法】

- 1 次選考：書類審査
 - 2 次選考：オンラインでの面接試験（応募者本人）
- ※2次選考の前に、保護者（施設長／里親）を対象としたオンライン面談を行います。
 ※最終合格者には、施設長の発行する在籍証明書または里親委託証明書（児童委託証明書）を提出いただきます。書類内容を確認の上、応募資格を満たしていることが認められない場合には合格を取り消します。また、合格した場合でも、後日、申告内容に虚偽や事実と異なることが認められた場合には、プログラムから除外となる他、既に支給した奨学金の返金を求めることがあります。

【応募方法】

下記の書類の全てを、締切までに提出すること。応募書類は返却いたしません。1次選考の結果についての個別のお問い合わせは理由の如何を問わず受け付けません。1つの施設から複数名の応募が可能です。

- 1 応募用紙（指定応募用紙に必要事項を記入のこと）
- 2 施設長／里親からの推薦状（厳封のこと）

【締切】 2022年1月7日（金）当日消印有効

【裏面に続く】

- 【応募の流れ】 選考は、以下のスケジュールで行います。
- 1月7日（金） 応募締切（当日消印有効）
 - 1月中旬 一次選考合格者への合格通知および2次選考案内送付（不合格者には通知はありません）
 - 1月下旬 保護者（施設長／里親）とのオンライン面談を実施
 - 2月11日（金） 二次選考 オンラインでの面接（応募者本人のみ）
 - 2月下旬 最終合格者発表 二次選考を受験した応募者本人及び保護者（施設長／里親）に通知します

※本プログラムの合格者は、2022年3月に開催される3泊4日（予定）のオリエンテーション・プログラム（集合対面形式を予定）への参加が義務づけられています。

- 【送付先】 応募書類の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）
 ※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷1-12-13
 渋谷郵便局留

一般財団法人教育支援グローバル基金
 「ビヨンドトゥモロー エンデバー2022係」 行

局留め郵便のため、宅急便などでの送付はできません。

【一般財団法人 教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、社会経済的に困難な状況にある若者たちを対象とした奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を通し、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

| | | |
|--------|---|--|
| 理事 | 橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠 木山 啓子 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟 | 元高知県知事 楽天株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー 特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 一般財団法人教育支援グローバル基金 マネージングディレクター グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士 |
| 評議員 | 羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子 | 将棋棋士 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士 |
| 監事 | 塩崎 彰久 | 衆議院議員 |
| アドバイザー | 阿川 尚之 櫻井 本篤 竹中 平蔵 | 同志社大学特別客員教授・慶應義塾大学名誉教授 前ジャパンソサエティーNY 理事長 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授 |

【問い合わせ】

一般財団法人教育支援グローバル基金
 電子メール：info@beyond-tomorrow.org

ファックス：03-6745-9100

ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 応募用紙

| | | |
|---|--|----------------|
| 名前 | (氏) | (名) |
| ふりがな | | |
| 住所 (郵便物送付先) | 〒 | |
| 応募資格について | あてはまるものに✓をつけてください <input type="checkbox"/> 児童養護施設に暮らしている (施設名：) <input type="checkbox"/> 児童養護施設以外の社会的養護の施設に暮らしている (施設名：) <input type="checkbox"/> 都道府県知事から委託を受けた里親家庭に暮らしている (里親氏名：) | |
| 電話番号 | 自宅 | 携帯電話 |
| 性別・学年 | 男 ・ 女 ・ その他 (○をつける) | 学年 (2021 年度現在) |
| 学校 | 学校名 (正式名称) | |
| 生年月日 | (西暦) 年 月 日 | |
| 自宅最寄駅 | 線 駅 | |
| 選考設問1： あなたの人生の中で、最もつらかった体験はどのようなものでしたか。それについてどのように考えていますか。 | | |
| 選考設問2： あなたは、どんな自分になりたいですか。なりたい自分の姿を、できるだけ具体的に書いてください。 | | |
| 選考設問3： あなたは将来、どのような道に進みたいですか。その夢の実現のために、高校卒業後にどのような進路を希望していますか。 | | |
| 選考設問4： 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。 | | |

私は応募用紙に全ての必要事項を偽りなく正しく記入したことを誓約し、ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 に応募します。

本人氏名 (自署) : _____ 保護者氏名 (自署) : _____

ビヨンドトゥモロー エンデバー2022
施設長／里親による推薦書
(施設長または里親がご記入の上、厳封ください)

| | |
|-------|--|
| 志願者氏名 | |
|-------|--|

ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 は、社会経済的に困難な状況にありながらも社会の力となる志を持つ、社会的養護の下に暮らす高校生を応援しています。選考にあたり、志願者が保護されることになった背景や日常生活における所見や志願者の人柄など、その他、当財団が選考にあたって志願者について知ることが有用と思われる情報について下記にできるだけ具体的にご記入ください。紙面が足りない場合は、裏面または別紙に記載してください。

日付（西暦）

住所

電話番号

推薦者氏名

印

（該当するものに✓をつけてください）

志願者との関係

本人が居住する施設の施設長
 都道府県知事により委託された里親

施設名（社会的養護の施設に暮らしている場合）

本状は必ず施設長または里親の方がご記入の上、厳封してください。

ビヨンドトゥモロー エンデバー2022 応募を迷っているかもしれないあなたへ



坂本 皓一（さかもと こういち） 東京都立翔陽高等学校

父からの虐待により、学校にも行けないという厳しい環境において、周囲の人を信用することが出来なかった。そういった経験を踏まえ、学校など身近な社会とのかかわりの大切さを学んだ。多様性を認め、相手を尊重することが出来るようなコミュニケーションが取れる大人になりたいと考えている。将来は同じような境遇の子供を学校という場所で支援したいと思うようになり、中学校の社会科教員を目指すことを決意し、高校3年生でエンデバーの活動に参加した。

私は高校に入学したときから、大学に進学するため勉強に真面目に取り組んでいました。しかし高校では、部活をほとんど毎日していたので、貯金がほとんどありませんでした。そのため、受験費用を負担してくれるエンデバーを児童相談所の方から紹介されたときは、すぐに応募しようと決めました。ですが、まさか本当に合格できるとは思っていませんでした。

しばらくしてから合格の知らせが届いたときは、とても嬉しかったです。ですが、私はあまり社交的な方ではなかったので、エンデバーのプログラムに参加する他のメンバーたちと上手くコミュニケーションをとる自信がなく、とても不安でした。でも、いざプログラムに参加していくと、他のメンバーと交流するためのセッションがいくつも用意されていて、知らないうちに学校にいるときと同じくらい笑って話していました。

私はエンデバーに参加したことで、「自分が見失っていた大切なもの」に気がつけました。私は里親のもとで暮らすようになってから、児童養護施設で離れて暮らす妹と弟と会うと、父親からの虐待と学校でのいじめを思い出してしまうのでとても辛かったので、自分の家族のことがとても嫌いでした。ですが8月の他のメンバーと人生を共有するプログラムで同じ班のメンバーから「自分の家族が欲しかった」という言葉聞いたときに、私は初めて自分の妹や弟という家族がいることは他の人よりも幸せで大切なことなのだと気がつくことが出来ました。もしエンデバーに参加していなければ、自分の進路のことにばかりに気を取られて一生気がつくことかできなかったと思います。

エンデバー2022 への応募を、今、迷っている人へ。迷っているなら応募してみてください！

おそらくこれを読んでいる人の多くが、奨学金受けることを他の人よりも不幸なことだと考えていると思います。私もエンデバーに参加するまでそのように思っていました。エンデバーでは学校と違ってあなたと同じような辛い経験を持つ人たちしかいません。だからこそ、エンデバーではたくさんの貴重な新しい発見や学びが得ることが出来ます。これは他の人よりも幸運なことです。逆境をチャンスに変えたい、自分の経験を将来に活かしたいと少しでも思ったのであれば是非応募してみてください。